

戦後の宜野湾市に関する資料を中心に展示します。  
懐かしい写真や映像資料の上映会も行います。

# 資料にみる 宜野湾市の戦後



1955(昭和30)年 土地接収に反対する支援者(宜野湾村伊佐浜)【琉球政府関係写真資料 012099】

## 2013年9月11日(水)～9月29日(日)

### 場 所: 宜野湾市立博物館

- ◆開館時間 9時～17時 ※入館は16時30分まで
- ◆休館日 9月16日(月)、17日(火)、23日(月)、24日(火)

**入場料  
無料**

主 催 沖縄県公文書館 宜野湾市教育委員会

★市立博物館市民講座: 9月29日(日) 14:00～16:00

「映像にみるアメリカ世」 新里 勝彦(元琉球放送カメラマン)

※受講料無料 定員: 50名(定員に達し次第、締切)

**お問い合わせ**

宜野湾市立博物館 098-870-9317 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜1-25-1



公文書館イベント予告 11月開催

日程は決まり次第、沖縄県公文書館ホームページ等でお知らせします。

## 「資料にみる伊江村」

場 所 伊江村中央公民館 共催: 伊江村教育委員会  
国頭郡伊江村東江上75 お問い合わせ: 沖縄県公文書館 098-888-3875

# 沖縄県公文書館と宜野湾市の資料をとおして歴史をたどりながら、地域への理解と愛着を高める展示会です。

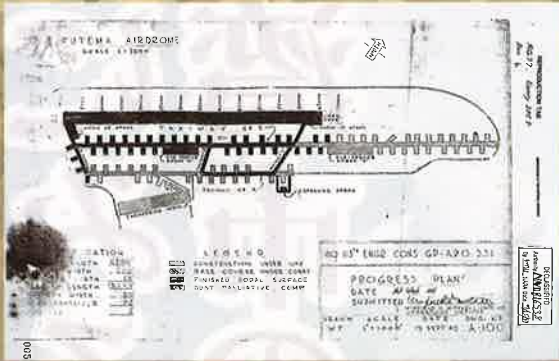


宜野湾市立博物館  
イメージキャラクター  
天女ちゃん

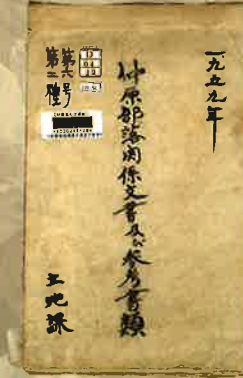
## 主な展示資料

### 基地建設・軍用地の接収に関する文書

1956(昭和31)年の沖縄では、米軍用地問題をめぐって、「島ぐるみ闘争」といわれた大きな世論の盛り上がりがありました。当時米軍は、朝鮮戦争の勃発や中華人民共和国といった東アジア情勢の激動を受けて沖縄の米軍基地を強化するため、強硬な手法で土地の新規接収等を実行し、これに対して沖縄社会は、激しい抗議活動を行いました。



米軍の普天間飛行場図面 (沖縄地区工兵隊文書)  
Area Allocations Airfield Okinawa 米国政府国防省  
1945(昭和20)年8月【U00002111B】



仲原部落関係文書及び参考書類  
1959(昭和34)年【R00024362B】

戦前の仲原(中原)部落(当時宜野湾村)が全て米軍の飛行場用地として接収されたため、住民は新たな土地へ移動させられました。後にその土地は布令26号によって1952年10月に遡って軍用地に指定されました。



宜野湾村伊佐浜立退者に対する  
代替地購入資金関係書類綴  
1956(昭和31)年3月2日【R00020536B】

土地を強制収用された伊佐浜の地主たちが琉球政府に対し代替地購入と転業資金の融資を嘆願しました。



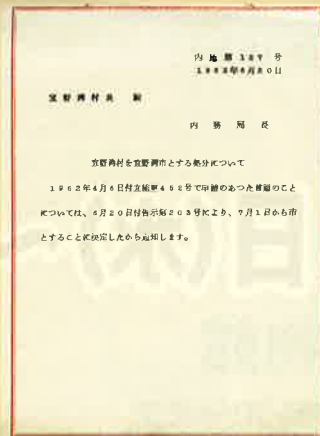
軍用地四原則貫徹住民大会に参加する人々  
1956(昭和31)年6月20日  
琉球政府関係写真資料【044255】

### 変わる町並み、あんやたん宜野湾

町並みはどのように変化したのでしょうか。写真資料からたどります。



「普天満宮前」  
町村の昇格に関する書類 宜野湾 1962(昭和37)年【R00002659B】



### 宜野湾村から宜野湾市へ 1962年

1962(昭和37)年、宜野湾村は村から市へと昇格しました。村では1960(昭和35)年5月に都市計画法の適用を受ける村としての指定を受け、61年には日本建設省から診断を受けるなど、着々と市昇格の準備を進めていました。

町村の昇格に関する書類 宜野湾  
1962(昭和37)年【R00002659B】

左：宜野湾村を宜野湾市とする処分について(通知)

下：普天間全景



沖縄県公文書館を  
ご利用ください  
(入館無料)

沖縄県公文書館 [クリック](#)



- ・どなたでもご利用できる施設です。
- ・県の公文書をはじめ、米国統治下の写真、映像資料も多数所蔵しています。
- ・自治会、老人会をはじめとする各種団体、個人の見学を受け付けています。

午前9時～午後5時開館。月曜・祝日休館。まずはお気軽にお電話を。  
沖縄県公文書館 南風原町字新川148-3番地 ☎ 098-888-3875